

Press Release

報道関係者各位

株式会社TBK **TBK**

2026年4月23日

「DBJ 環境格付」で最高ランクを初取得 環境への配慮に対する取り組みが特に先進的と評価

当社は、株式会社日本政策投資銀行(以下、DBJ)が行う「DBJ 環境格付」融資において、環境への配慮に対する取り組みが特に先進的と評価され、当社としては初となる最高ランクの格付を取得しました。



2026年4月22日に当社で行われた表彰式の様子
(左)DBJ 東北支店長 岡井 覚一郎 様、(右)当社 代表取締役社長 尾方 馨

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム(格付システム)により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、当社グループのサステナビリティ経営における以下の3点が高く評価されました。

1. トップマネジメント主導による経営・現場一体での環境経営の推進

TBK グループ全体での環境マネジメント推進に向けて、トップマネジメントのリーダーシップのもと各サイトにおける幅広い環境データの収集・精緻化に着手するとともに、環境に資する取り組みを経営の視点から捉えて生産活動の最適化を推進し、製造現場における意識啓発や改善活動を継続するなど、経営と現場が一体となって環境経営にかかる PDCA サイクルを展開している点

2. 商用車の長期的な電動化動向を踏まえた環境価値を軸とした差別化戦略の推進

2030年に目指す姿として「時代の変化に合った価値をスピーディーに創造する企業」を掲げ、商用車の電動化にかかる長期的な潮流等を踏まえた製品開発ロードマップを着実に実現すべく、中期経営計画にてマイルストーンを設定しながら、顧客と連携した環境配慮製品開発を進めるとともに、実車試験等により環境負荷低減効果の定量的な訴求に努め、環境価値を軸とする差別化に向けた取り組みを推進している点

3. 持続可能なサプライチェーン構築に向けたサプライヤーとの連携強化

グリーン調達ガイドライン※に基づき、サプライヤーの環境面の取り組み評価や改善指導を継続的に実施していることに加え、新たに人権方針を公表し、取引先説明会を通じて幅広いサプライヤーに周知する等、グローバルな生産・購買活動を展開する企業として持続可能なサプライチェーン構築に向けた取り組みの射程を広げている点

※「グリーン調達ガイドライン」は現在、「TBK グループサステナビリティ調達ガイドライン」として改訂されています。

当社グループは、「お客様に喜んでいただく商品をつくり、社会に貢献する。」という経営理念のもと、商用車の重要保安部品であるブレーキおよびエンジン冷却・潤滑の機能部品であるポンプ等を安定供給することで、物流の安心と安全を支える役割を担っております。また、長年にわたり培った鋳造・加工技術を活用したモノづくりをはじめ、新時代に向けた電動化ソリューションの開発にも注力しています。当社は今後も、商品の「社会的価値」と「経済的価値」を両立させるサステナビリティ経営に努めるとともに、幅広く社会に貢献できる企業を目指して参ります。

【会社情報】

社名	株式会社TBK
設立	1949年8月1日
本社所在地	東京都町田市南成瀬4-21-1
代表	代表取締役社長 尾方 馨
資本金	51億8620万円
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場
従業員数	単体1,002/連結2,721(2025年4月時点)
事業内容	各種自動車、産業機械、建設機械の部品の設計製造、販売及び修理

■報道関係者お問い合わせ先

株式会社TBK 広報・IR部 広報・IR課 広報チーム

E-mail: kouho.ir@tbk-jp.com

公式サイト: <https://tbk-jp.com/>